

中学校総合体育県大会

第38回県中学校総合体育大会で活躍した
具志頭中学校と東風平中学校の生徒らが7
月27日、役場を訪れ比屋根町長へ成績を報
告しました。

具志頭中学校 女子テニス	第4位
東風平中学校 女子バスケット	優勝
陸上競技男子共通800m	第2位
陸上競技男子砲丸投げ	第2位
卓球男子個人	第3位
水泳女子背泳ぎ200m	第2位
水泳女子背泳ぎ200m	第2位



マンゴーの拠点産地に

8月2日、八重
瀬町は品質の良い
マンゴーを安定的
に出荷している
として、県農林水産
部の比嘉俊昭部長
から比屋根方次町
長へ認定証が交付
されました。八重
瀬町の平成22年度
マンゴーの作付面
積は8.6ha。
農家は53戸で、出
荷量は81.9t。
拠点産地の認定
は小菊、ピーマン、
オクラ、サヤイン
ゲンに続き5品目
となります。



生け花展示会開催

今年も特別養護老人
ホームときわ苑生け花
クラブの「生け花展示
会」が7月12日から15
日の期間、東風平郵便
局（神里政人局長の
ロビーで開催され、同
クラブ10名の作品が郵
便局へ来る人々を華
やかに迎えました。同
クラブ最年長の玉寄ウ
トさん（100歳）は
「花を見ていると気持
ちが落ち着きます。こ
れからも手先の器用さ
を生かして花の魅力を
伝えたいです」と目を
細めて話しました。



八重瀬町土建会寄付

7月28日、八重瀬町土建会の
新垣善光会長らが役場を訪れ、
町の発展を願う人材育成へ一般
寄付として50万円寄付しました。
新垣会長は、「これからもボラ
ンティア活動など土建会並びに
八重瀬町の発展のために積極的
に取り組んでいきます」と話し
ていました。



獅子文化の普及を図る

志多伯ハッスル子ども会が主催す
る漆喰シーサー作り教室（平成23年
度地域活性化交流事業）が7月24日、
志多伯公民館で行われました。志多
伯には、約300年の歴史があると
伝えられる「神獅子」と呼ばれる「獅
子加那志」が存在します。その獅子
の歴史を学ぶとともに、世代間の交
流を図ることを目的に開かれた教室
には、親子連れら約80名が参加し、
思い思いのシーサーを作りました。
今回作られたシーサーの一部は、9
月の豊年祭の道ズネーの際に灯籠と
して華を添えます。



FC琉球サッカー教室

町内の少年サッカーチームを
対象にFC琉球の選手らを講師
に迎えてサッカー教室が7月30
日、東風平サッカー場で開催さ
れました。東風平JSCとぐし
かみFCの選手48名が基礎練習
やミニゲームでFC琉球の選手
と楽しく汗を流しました。



獅子舞による復興祈願

去った5月22日に豊
見城市美らさんビーチ
で東日本大震災被災者
支援チャリティイベントが
行われました。その中で、
本町内の獅子舞保存会
3団体が共演し獅子加
那志による復興祈願を
行いました。それぞれ
の団体が所有する獅子
計5頭が一同に会する
のは初めてで、村の守
り神として崇められる
獅子のパワーを東北地
方へ届かせました。そ
の他に、志多伯の古武
術、県立芸大OB会の
舞踊、創作太鼓奏美ら
さのエイサーや県内の
ミュージシャンが集い、
復興を願いました。



志多伯獅子舞保存会、琉球獅子舞保存会、友寄棒術獅子舞保存会
県立芸大OB会（順不同）の出演者のみなさん。

東風平中浦崎さん島尻大会出場へ

第6回八重瀬町青年の
主張大会（主催：町青年
健全育成協議会）が7
月29日、八重瀬町中央公
民館で開かれました。町
内の中学校から男女6人
が発表し、浦崎真有さん
（東風平中学校3年）の
「東日本大震災」が最優
秀賞に選ばれ、9月に与
那原町で開かれる島尻大
会に出場します。浦崎さ
んは、日本人の心が団
結して東日本大震災の被
災者の事を考えるべきで
はないかと訴え、「中学
生としてできることは何
かを絶えず考え続けてい
こうではありませんか」
と力強く発表しました。



高知県の児童と交流

高知新聞社が主催する
「夏休み学習旅行招待」の
コンクールで上位入賞した
高知県の児童らが7月26日、
具志頭城址を訪れ、具志頭
小学校の児童と交流学習を
行いました。具志頭小学校
の児童がエイサーで歓迎し、
高知県の児童は、同様にち
なんだクイズを主題するな
ど交流を深めました。最後
に、同城址にある高知県
出身者の戦没者がある「土
佐の塔」を清掃後、献花し
黙とうを捧げました。初め
て沖縄を訪れた高知県香南
市の平川明日香さん（野市
東小5年）は「迫力のある
エイサーで元気をもらいま
した。沖縄県と高知県の違
いを探して帰りたいです」
と笑顔で話しました。

新城青年会が美化活動

7月17日、強い
日差しが照りつけ
る中、新城青年会
（崎浜秀康会長）
はエイサー練習の
合間を利用し、環
境美化活動に取り
組みました。これ
は、地域へ感謝し、
美化活動を通して
還元しようという
もので、町内の
農業関係者より
提供を受けたブー
ゲンビリアなど約
400鉢の苗を新
城公民館周辺に植
えました。



晴れ舞台 愛らしく

第6回子ども芸能祭（主催：八重瀬町文化協会）
が7月17日、八重瀬町中央公民館で開かれました。
11団体の約90名が出演し、琉球舞踊や日本舞踊な
ど可愛らしい演目や凛々しい演目を披露する子ど
もたちが会場から温かい拍手が送られました。ま
た、公演の収益金の一部は東日本大震災の被災地
へ義援金として送られます。



港川人の時代 世界と沖縄

八重瀬町内で発見された約1万8千年前
の化石人骨「港川人」についての講演と沖
縄で新たに発見された人類化石の報告が、
7月30日八重瀬町保健センターで開かれま
した（八重瀬町教育委員会主催）。
講演では国立化学博物館名誉研究員の馬
場悠男氏が約40年前に「港川人」を発見し
た故大山盛保氏の偉業や経緯を紹介。また、
「港川人骨は世界の宝であり、私たち日本
人としてのアイデンティティ、存在の根
源の象徴である」と強調、さらに、八重瀬
町にはその宝が発見された貴重な遺跡が
残っており、遺跡の保存の必要性を訴えま
した。
その後、県立博物館・美術館主任の片桐
千亜紀氏が港川人と同じ時代の人骨が発見
され、昨年、メディアにも大きく取り上げ
られ石垣島の白保半根田原洞遺跡の報告
を行いました。参加者から多くの質問が寄
せられ関心の高さが伺えました。



